

じいちゃんとうつかり歩く坂の道 楽しいな

江川小 二年 渡部 結愛  
祖父 渡部 初夫

ばあ先生 ずっと見ている まちがった？  
そうじゃない 一筆一筆 真剣に

江川小 二年 渡部 杏奈  
祖母 渡部 操

テレビみず 家ぞくの会話 楽しいね  
テレビ消し みんなの声を 聞かせてね

江川小 三年 北 心温  
母 北 奈美

おかあさん ぼくがもつよ そのにもつ  
小さかった 手のひら今は 頼もしい

檜原小 一年 芳賀 穂高  
母 芳賀 香織

あぶないと ばあばの手をひく はかまいり  
支える手 祖母が元気に 願い込め

檜原小 二年 長谷川 理桜  
母 長谷川 理絵

「気持ちいい」言われてうれしい マッサージ  
腰痛が 娘のおかげで 楽になる

檜原小 三年 渡部 愛琉  
父 渡部 雄矢

またのびた はやく切ってよ お母さん  
本当だ 動かないでと 切る前髪

檜原小 五年 杉本 和奏  
母 杉本 愛

ゆかた着て ちよっぴり大人な 夏祭り  
送り出し ちよっぴり淋しい 母心

檜原小 四年 松矢 夏月葵  
母 松矢 知恵子



はきそうじ ほうきもったら すぶりする  
おいおいと 注意するも アドバイス

檜枝岐小 二年 橋 滯音  
父 橋 和也

妹は わがままばかり いる  
たのもしい 母の口まね 長女かな

只見小 三年 長谷川 優歌  
母 長谷川 佳代

夕方の 水やりぼくに まかせてね  
毎朝の 花の水やり 私の日課

只見小 三年 増田 楽  
母 増田 美奈

お父さん たまにはぼくと 遊んでよ  
キャッチボール してあげたいけど 五十肩

只見小 五年 五十嵐 零生  
父 五十嵐 広雄

お母さん この服ちよっと きついかも  
急成長 去年の半袖 もう着れず

朝日小 四年 星 まお  
母 星 美香

お父さん じょうずになったよ バレーボール  
「みてみて」と はしゃぐ息子に 顔なごむ

朝日小 四年 増田 大司  
父 増田 大司

洗たくざお ひよっこり乗ってる お客さま  
毎日の 洗濯見守る カエルちゃん

朝日小 六年 山田 夢空  
母 山田 千春



はんごうの かりかりごはん おいしいね  
空の下 父子で作る 夏の味

明和小 一年 大東 芽生  
母 大東 由佳

じいちゃんのかた手になって ドアを開け  
孫の手で 自動ドアへと 早変わり

明和小 三年 三瓶 蒼有介  
祖父 三瓶 健一

母さんの 真似して家事を やってみる  
気がつけば 小さな私が もうひとり

明和小 五年 宇野 日陽子  
母 宇野 利江子

部活して みんなダラダラ 汗まみれ！  
部活して つかれたあとは お手伝い



田島中 一年 力丸 藍里  
一年 相田 真奈

ふりかえる 母の目線は 私と同じ  
来年は 私が見上げる 子の成長

田島中 一年 猪股 梨杏  
母 猪股 百江



母さんと 交換日記!? あ：：サンキュ  
書いていて 口では言えない 悩み事

田島中 一年 湯田 依吹  
母 湯田 美奈

ケンカして 一日たてば 仲なおり  
ごめんなさい 二人であやまり 仲なおり

田島中 一年 竹内 歩陸  
母 竹内 郁美

母いつも 私を怒る 嫌いなもの?  
好きだから 一生懸命 怒るもの

田島中 一年 福田 紗弓  
父 福田 壮男

釣り知恵を 語り受け継ぎ 三代目  
亡き父の 眼重なる 夕まずめ

田島中 二年 星 侑冴  
父 星 裕幸

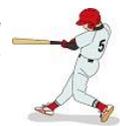


王手して ちよっと待って 焦る父  
甘くみた 息子の一手 詰まれてた

田島中 二年 渡邊 太陽  
父 渡邊 正徳

手のまめに 遠く夢みる 甲子園  
持続する その気持ち 名選手

田島中 二年 星 航汰  
父 星 昌友



母みたか 誰も打てない 変化球  
遅しい サープ打つ子は 我が息子

田島中 三年 鈴木 悠斗  
母 鈴木 蕉子

夜ごはん 家族のスマイル いただきます  
毎日の 出来事話す 夕食時

荒海中 一年 星 葵良  
母 星 さゆり

うるさすぎ セミの声より 母の声  
セミになど 負けてたまるか 母の声



荒海中 三年 湯田 愛梨  
母 湯田 サツキ

納豆の ちゃわんを洗う ジャンケンポン  
納豆の 大粒好きが 一緒だね

館岩中 一年 土器屋 満太  
母 土器屋 桃子

我が祖母の 荷物運び 恩返し  
年老いて 孫の力の たのもしさ

館岩中 二年 芳賀 健太郎  
祖母 芳賀 加久代

はじめの 厚焼き玉子 うますぎる  
焦げぬよに 火加減見つめ 声かける

南会津中 一年 星 里穂  
母 星 広美

駅伝の 記録で母に 勝ってやる  
そうきたか カエルの子どもは カエルだか

南会津中 二年 佐藤 仁  
母 佐藤 佳厘



祖父のあと 頑張っていますと 手を合わせ  
帰省して 祖父と孫とで 墓参り

南会津中 三年 立石 廉子  
母 立石 敦子

県大会 惜しくも行けず くやし泣き  
泣きじゃくる 子を抱きしめて 我也泣く

南会津中 三年 五十嵐 雅  
母 五十嵐 美織

いってきます 見送る母に 振り向けず  
遠くなる あなたの背中 頼もしく

下郷中 一年 齋藤 夏輝  
母 齋藤 泉

お母さん ちよっとなりに 立ってみて  
背くらべ いつの間にやら 見下ろされ

下郷中 一年 阿久津 弘人  
母 阿久津 志津

けんか中 心が折れる 台所  
反抗期 親子とりもつ 台所

下郷中 二年 鈴木 理希子  
母 鈴木 亜希子

試合前 打てるようにと 素振りする  
僕もやる！ 一緒に勝利を つかもうね



下郷中 二年 玉川 愛斗  
江川小 五年 玉川 夢斗

送ってよ 母にかくれて 頼む朝  
孫のため やってあげます 運転手

下郷中 三年 五十嵐 彩夏  
祖父 五十嵐 和夫

部活引退 二人の親に 大感謝  
こちらこそ 野球の楽しさ 知りました

下郷中 三年 渡部 颯太  
母 渡部 真奈美

イヨツカリ 水面に映る 笑顔の輪  
イヨツカリ 短い夏の 清流(かわ)の声



檜枝岐中 二年 平野 陽菜  
父 平野 勝

大そうじ 写真を見つけて ひとやすみ  
母と子で 思い出話に 花がさく

只見中 二年 五十嵐 涼凱  
母 五十嵐 由紀

洗たく物ば つかれし母は 夢の中  
気が付けば 洗たく物が たたまれて

只見中 二年 酒井 真生  
母 酒井 かなえ

「手伝うよ」 距離が縮まる 台所  
「ありがとう」 覚えてね 並んで伝える ばあの味



只見中 一年 橋川 綾乃  
祖母 佐藤 京子

盆休み 雨に負けずに 墓そうじ  
ひいばあちゃん 会いに来たよと 手を合わせる

只見中 一年 宇野 心晴  
母 宇野 利江子

### 復興部門

おいしいな 果物王国 じまんだよ  
真心の 献上柿で おもてなし



旭田小 五年 佐藤 桃奈  
母 佐藤 千恵子

買ってけやれ、安心安全 声にのせ  
声を出す こめらの姿 想いよ届け

伊南小 六年 菊地 翔斗  
母 菊地 明実

校庭の 向日葵あ頃と 変わらずに  
向日葵のように 高く上がれ 福島も

田島中 三年 佐藤 那音  
三年 佐藤 礼旺

福島は 乗り越えてゆく 何事も  
”さすけねえー“ 福島会津の 底力

荒海中 三年 渡部 龍人  
母 渡部 和代

## 「十七字のふれあい」に関するご意見・ご感想

○「自分と子ども」だけではなく、「自分と親」の絆にも気づくことが出来ました。

○9年間、お世話になりました。夏を親子で振り返る本当に触れ合えるひとときでした。

○今年でこの子と十七字が終わると思うと感慨深いものがありました。

○家族の絆を振り返るためにも今後も募集してください。

○いつも考えていないささいなことも幸せにつながる  
ことが改めてわかります。これを機会に孫と接する  
とき、優しい気持ちになれば良いと改心したいです。

○たった十七字、されど十七字、十七字で絆が深まりました。

○夏休みの最後に十七字で絆が深まりました。

○改めて震災について考える機会になりました。

※ここに掲載した以外にもたくさんのご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

平成二十九年度の南会津域内の応募総数は一五二九作品で、県最終選考作品は、佳作を含め四点でした。

たくさんのご応募ありがとうございました。

編集 南会津教育事務所

□応募総数 小学校 952組  
中学校 577組  
合計 1,529組

□掲載作品 <県最終選考作品>  
小学校 2組(1) 中学校 2組(1) 計 4組(2)

<南会津奨励作品>  
小学校 46組(1) 中学校28組(1) 計74組(2)

<スマイル賞作品>  
小学校 48組(2) 中学校30組(2) 計78組(4)

※( )内は復興部門数を表しています。

□発行 福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課